

水産庁

プレスリリース

平成28年3月24日
水産庁

平成27年度新南極海鯨類科学調査の航海終了について

平成27年12月1日(火曜日)から「新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A)」に基づき実施していた、平成27年度新南極海鯨類科学調査の航海が平成28年3月24日(木曜日)に終了し、調査船が下関市に入港しました。

1.調査の目的

本調査は、平成26年3月の国際司法裁判所(ICJ)の判決を踏まえ策定された「新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A)」に基づく調査で、国際捕鯨取締条約第8条に基づき、一般財団法人 日本鯨類研究所が農林水産大臣の許可を受けて実施しているものです。

具体的には、(1)改訂管理方式(RMP注)を適用したクロミンククジラの捕獲枠算出のための生物学的及び生態学的情報の高精度化、(2)生態系モデルの構築を通じた南極海生態系の構造及び動態の研究を目的としています。

(注)商業捕鯨のための持続可能な捕獲量を算出する手法

2.調査の概要

- (1)調査海域:南緯60度以南、経度0度から西経120度
- (2)航海期間:平成27年12月1日(火曜日)から平成28年3月24日(木曜日) 115日間
- (3)調査期間:平成27年12月23日(水曜日)から平成28年2月25日(木曜日) 65日間
- (4)調査実施機関:一般財団法人 日本鯨類研究所
- (5)調査団長:一般財団法人 日本鯨類研究所 調査研究部次長 松岡 耕二
- (6)調査船:
 - ・調査母船「日新丸」(8,145トン 江口船長以下101名)
 - ・目視採集船「勇新丸」(724トン 佐々木船長以下19名)
 - ・目視採集船「第二勇新丸」(747トン 阿部船長以下19名)
 - ・目視専門船「第三勇新丸」(742トン 大越船長以下21名)
- (7)捕獲頭数:クロミンククジラ 333頭

3.調査結果の概要

調査結果の概要は、次のとおりです。

- (1)捕獲したクロミンククジラ333頭のうち、雄は103頭、雌は230頭でした。捕獲した個体のうち、雄は83.5%、雌は75.7%の割合で性成熟しており、成熟した雌の90.2%が妊娠していました。雌の高い妊娠率は例年と同様であり、南極海におけるクロミンククジラの繁殖状況が健全であることを示唆しています。
 - (2)また、目視調査では、過去数年と同様にザトウクジラが多く視認されましたが、このことは、本調査の海域で、近年ザトウクジラの資源量が急速に回復してきていることを示していると考えられます。
 - (3)また、今次調査においては、非致死的研究の実行可能性・有用性を検証するため、クロミンククジラからのバイオプシー標本(注1)の採集実験や、回遊経路を調べるための同種への衛星標識装着実験を実施し、データを蓄積しました。
 - (4)NEWREP-Aにおける新たな試みとして、簡易餌生物資源量調査として、計量魚群探知機及びネットサンプリングによるオキアミ類の資源量調査を実施したほか、採水を含む海洋観測を実施し、餌生物環境に関するデータを蓄積しました。
 - (5)このほか、シロナガスクジラ、ナガスクジラ、ザトウクジラ、ミナミセミクジラ及びシャチからのバイオプシー標本採集や、これらの自然標識撮影(注2)などの非致死的研究を今次新調査計画においても実施しました。
 - (6)今次調査で得られたデータ及び採集標本は、今後、国内外の研究機関との共同研究により分析及び解析が行われ、鯨類資源に関する研究の進展に寄与することが期待されます。研究成果については、国際捕鯨委員会や各分野の学会などで公表される予定です。
- (注1)DNA等を解析するため、鯨の表皮の一部を採取するもの。
(注2)外見上の特徴(色、ひれの形状、傷跡等)により鯨の個体識別ができるようにするため、発見された鯨を撮影するもの。

4.その他

- (1)今次調査については、反捕鯨団体からの妨害行為はありませんでした。
- (2)調査結果に関する詳細な情報は、一般財団法人 日本鯨類研究所のホームページで公開しています。<http://www.icrwhale.org/>

(参考)

平成27年11月30日付けプレスリリース「南極海における新たな鯨類調査(新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A))の実施について」

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/enyou/151130.html>

— お問い合わせ先 —

資源管理部国際課
担当者: 佐々木、岡添
代表: 03-3502-8111 (内線6762)
ダイヤルイン: 03-3502-2443
FAX: 03-3504-2649

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁

水産庁

プレスリリース

平成27年11月30日
水産庁

南極海における新たな鯨類調査(新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A))の実施について

平成27年12月1日(火曜日)、南極海における新たな鯨類調査(新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A))の実施に向けて、調査船団が出港します。

1.調査について

本調査は、国際司法裁判所の判決を踏まえ策定された、新調査計画「新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A)」に基づく調査で、国際捕鯨取締条約第8条に基づき、実施します。

2.調査実施主体

一般財団法人 日本鯨類研究所

3.調査期間

平成27年12月下旬から平成28年3月上旬まで(予定)

4.調査海域

南極海

5.調査方法

(1)捕獲調査

ア 対象鯨種 クロミンククジラ

イ 捕獲頭数 333頭

(2)非致命的調査

資源量推定のための目視調査、バイオプシー・サンプル(皮膚標本)の採取、海洋観測等、これまでの南極海鯨類捕獲調査で実施してきた非致命的調査を継続するとともに、非致命的調査手法の実行可能性・有用性を検証。

(3)餌生物資源量調査

計量魚群探知機を活用した簡易なオキアミ資源量調査を実施。

6.調査船

- ・調査母船「日新丸」(8,145トン、江口船長以下101名)
- ・目視採集船「勇新丸」(724トン、佐々木船長以下19名)
- ・目視採集船「第二勇新丸」(747トン、阿部船長以下19名)
- ・目視採集船「第三勇新丸」(742トン、大越船長以下21名)

7.参考

・新南極海鯨類科学調査計画(NEWREP-A)の概要については、以下のURLで御覧になれます。

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/whale/index.html>

— お問い合わせ先 —

資源管理部国際課

担当者: 捕鯨班 成澤、岡添

代表: 03-3502-8111(内線6762)

ダイヤルイン: 03-3502-2443

FAX: 03-3504-2649

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁